

駅前大通二丁目地区市街地再開発事業 これまでの経緯

○平成20年度

豊橋駅前大通地区まちなみデザイン会議発足

駅前エリアのまちづくりについて、総合的・俯瞰的、かつ、自由に話し合い、提案のできる「場」が必要となり、駅前各自治会、商店街、エリア内ビル（オフィス、百貨店等）の所有企業、鉄道会社、イベント企画団体のほか、大学、行政からの協力を得て発足

○平成22年度

豊橋駅前大通南地区「まちづくりビジョン」策定

自分たちが主体的にまちづくりを進めていきたいという思いのもと、勉強会や意見交換会、まちづくり座談会等での意見を踏まえ、上記まちなみデザイン会議が豊橋駅前大通南地区の今後のまちづくりの指針をまとめたもの

【まちづくりビジョン（抜粋）】

○将来像

「まちは変わり～懐かしさが新しい・駅南地区」

○エリア別の将来像（駅2エリア：狭間児童広場周辺）

「まちなか発展につながる交流のかなめ～まちのオアシスで“ほのぼの”ひとやすみ～」
狭間児童広場と周辺のビルの一体的再開発により、開放的で使いやすい広場が生み出され、まちなかへの来訪者や居住者の憩いの場となる。わくわくするような刺激にあふれ、まちなかを回遊する拠点となるとともに、若者から高齢者まで多様な世代の自然な交流が生まれることでまちに広がりや深みが出る。

○まちづくりの指針

「まちなかの回遊性を生み出す交流拠点づくり」

《具体的施策例》

広場・開放的で使いやすく、夜でも安心して行くことのできる広場

- ・駅前大通と水上ビルを結ぶ広場
- ・いろいろな世代の人々がふれあい、交流できる広場
- ・季節を感じることのできる樹木や花、親水空間、ビオトープ など

ビル・魅力があり集客力のある店舗、飲食店、娯楽施設

- ・文化、教育、子育て、福祉、医療などの公共公益施設
- ・若者が自然と集まるようなしかけ など

○平成23年度

豊橋駅前大通二丁目地区再開発基本計画策定

再開発機運の高まる駅前大通二丁目地区について、老朽化の著しい都市機能について効率的な機能更新を図り、新たなまちの賑わい拠点形成に資するよう、再開発事業実施に向けた初期検討として地区の整備方針をまとめ、事業化に向けた合意形成を円滑に推進することを目的に策定

【再開発方針（抜粋）】

○全体コンセプト

「にぎわい」と「みどり」にあふれた、まちなか拠点の再生」

○整備方針

- ・さまざまな都市機能の導入、整備
- ・まち歩きのコアとなる「まちなか広場」の形成
- ・緑あふれたオアシス空間「緑の広場」の形成

○平成24年度

豊橋駅前大通二丁目地区再開発推進計画策定

駅前大通二丁目地区について、基本計画を基として、施行予定者である準備組合が施行主体や事業計画、権利調整等の各種検討を行うことにより、今後、事業計画方針を見定めながら円滑な事業推進を図ることを目的に策定

※内容省略

○平成25年度

第二期豊橋市中心市街地活性化基本計画（内閣総理大臣認定）策定

「にぎわいの創出」、「商業・サービス業の活性化」、「まちなか居住の促進」を目標に5年間に取り組む具体的事業を明記

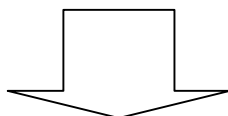
＜事業（関係分）＞

- ・豊橋市駅前大通二丁目地区第1種市街地再開発事業
- ・まちなか広場（仮称）整備事業（2,000～3,000㎡）
- ・まちなか図書館（仮称）整備事業（3,000～4,000㎡）

○平成25、26年度

事業プランの作成及び都市計画決定に向けた検討等

再開発準備組合と豊橋市による「まちづくりミーティング」を概ね2週間に1度の頻度で開催し、具体化に向けた検討を実施



現在に至る